

# あらかわ 区議会だより

No. 241

平成29年4月16日

平成28年度定例会・2月会議号



尾久の原公園の桜

## おもな内容

2ページ 議会活動  
会議の概要

3ページ 区政のここをきく

9ページ 採択した請願・陳情

10ページ 区長の施政方針説明  
委員会活動の報告

14ページ 予算審査の概要

15ページ 主な総括質疑

16ページ 予算に対する討論

19ページ 議案の審議結果

20ページ 視察受入報告

## 議会活動

平成28年12月14日～平成29年3月15日

1月11日	・ 総務企画委員会 ・ 福祉・区民生活委員会	2月2日	・ 総務企画委員会 ・ 福祉・区民生活委員会	・ 本会議 ・ 予算に関する特別委員会	
1月12日	・ 文教・子育て支援委員会 ・ 建設環境委員会 (区外視察)	2月3日	・ 文教・子育て支援委員会 ・ 建設環境委員会	2月28日	・ 予算に関する特別委員会
1月19日～20日	・ 健康・危機管理対策調査特別委員会 (行政視察)	2月13日	・ 議会運営委員会	3月1日	・ 予算に関する特別委員会
1月23日	・ 震災対策調査特別委員会	2月14日	・ 本会議	3月2日	・ 文教・子育て支援委員会
1月25日～26日	・ 震災対策調査特別委員会 (行政視察)	2月15日	・ 本会議	3月3・6日	・ 予算に関する特別委員会
1月27日	・ 観光・文化推進調査特別委員会	2月17日	・ 総務企画委員会 ・ 福祉・区民生活委員会	3月7日	・ 本会議
1月30日	・ 議会運営委員会	2月21日	・ 文教・子育て支援委員会 ・ 建設環境委員会	3月8日	・ 福祉・区民生活委員会
1月31日	・ 公共施設老朽化等対策調査特別委員会	2月23日	・ 予算に関する特別委員会	3月9日	・ 予算に関する特別委員会
		2月24日		3月14日	・ 議会運営委員会
				3月15日	・ 本会議

## 2月会議の概要

### ～平成29年度一般会計予算等を可決～

平成28年度荒川区議会定例会・2月会議は、2月14日から3月15日までの30日間の会議期間で開かれました。

区長の平成29年施政方針説明の後、本会議では、8人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は3～9ページに掲載してい

ます)。

2月会議では、議案38件が提出されました(議案の審議結果は19ページに掲載しています)。このうち平成29年度予算4件は、予算に関する特別委員会を設置して審査を行いました。

太字は本会議期間中です。



### 会派の名称変更と新会派の結成

平成29年3月14日付で「民進党・市民の会」の会派名が「民進党荒川区議会」に変更となりました。また、瀬野喜代議員(前民進党・市民の会)が新たに「市民の会」を結成しました。



◀ 2月会議の様子



# 区政のここをきく

## 一般質問要旨



荒川区の来年度予算及び区政の展望と日暮里駅周辺の整備を問う

小坂眞三（自民党）

### 荒川区の来年度予算と区政の展望を問う

**問** 1月の安倍首相の施政方針演説では、名目GDPが44兆円増加、9%成長したと述べられたが、区民や区内企業の実感では、景気回復の効果が十分にいき渡っていない。今後の財政運営は、様々な財政指標を用いて、財政の健全化を適宜チェックしながら行うことが重要である。今後、ますます増加が想定される行政需要に的確に対応するためにも、これまで以上に適正な行財政改革を進めていかなければならないと考える。そこで、今後の区政運営の考え方とともに、我が党の要望が新年度予算にどう反映されているか、予算編成の基本的な考え方を含めて問う。

**答** 時代の変化や新しい潮流に的確に対応することが、区の未来を切り拓くとの思いでこれまで多岐にわたる施策を展開してきた。新年度予算では、保育士奨学金制度の創設や、区立児童相談所設置の推進等、子どもの未来を切り拓くための支援策の拡充をはじめ、介護予防の充実、防災まちづくりの推進、地域経済や文化・スポーツの活性化等、区政のあらゆる分野の施策に取り組んでいく。今後も財政指標を注視しつつ、財務諸表等の検証や行政評価を徹底する等、将来を見据えた強固な財政基盤の確立に努める。これからも、困難な課題に真正面から立ち向かい、区政運営に邁進する。

### 日暮里駅周辺の整備を問う

**問** 日暮里駅は成田空港から近く、世界の玄関口と言える。外国人観光客も多くなると考えるので、交通量調査を行ってはどうか。一方、南口の紅葉橋はエレベーターがなく不便である。以前から日暮里駅周辺の更なる発展のためにも、老朽化して

いる紅葉橋の対策を求めているが、東京オリンピック・パラリンピックを一つの契機として、それまでに間に合わせる形でバリアフリー化に着手すべきと考えるが、区の今後の進め方を問う。

**答** 平成26年度から27年度にかけて紅葉橋の健全度及び耐震性の調査を実施した。調査の結果、架け替えは行わず健全度や耐震性を活かし、バリアフリー化を基本とした整備を実施することとした。整備にあたり、東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、先行してエレベーターの設置等によってバリアフリー化を図る整備を計画している。また、平成29年度には、交通量調査や予備設計及び地下埋設物調査を実施する。



紅葉橋

**問** 西日暮里駅から西日暮里三丁目周辺の山の上に行くには、エレベーターがないと不便である。西日暮里駅周辺のバリアフリー化は、高齢者の方や障がいのある方の移動円滑化に資するとともに、観光客の増加も見込まれると考える。用地を確保することは容易ではないが、あらゆる可能性を考慮した上で、西日暮里公園に上げられるエレベーターの設置を検討してはどうか。

**答** 区では、西日暮里駅周辺のバリアフリー基本構想を策定し、可能な限り移動円滑化基準に適合した形に近づけるよう検討してきた。エレベーターの設置は、西日暮里地域の移動円滑化が図られるとともに、観光振興にも繋がると考える。しかし、設置には大規模な仮設工事が必要になることや既存擁壁の一部が支障となること等、課題も多い。また、適地を確保することが難しい状況ではあるが、駅周辺の開発を注視しながら、検討を進める。

### その他の質問項目

- 東京女子医科大学東医療センターの移転問題について
- 町屋駅藍染川通りについて
- 電線類の地中化について



### 2025年問題と災害時協定を問う

保坂正仁（公明党）

#### 2025年問題を問う

**問** 2025年問題とは、2025年に団塊の世代の人々が後期高齢者となり、少子高齢化問題に拍車をかけて生じる諸問題を表した言葉である。早くからの対策が必要と考えるが、区における後期高齢者人口の推移と対策をどう考えているか。

**答** 「荒川区人口ビジョン」において後期高齢者人口は、2025年まで増え続けると推計されている。区では、この問題に対し、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを一体的に提供し高齢者を支える「地域包括ケアシステムの構築」に取り組んでいる。

**問** 区では、これまで医療や介護費用の抑制に取り組んできた。今後、一層の努力を要望するとともに、社会保障費の確保について、今から万全の準備をする必要があると考えるが、区の見解を問う。

**答** 区は介護予防事業や糖尿病対策等とともに、ジェネリック医薬品の利用促進等を総合的に行う「荒川区方式」の推進に取り組んできた。引き続き地域包括ケアシステムの構築を進め、国に対しても安定的な社会保障費の確保を働きかける。

**問** ころばん体操やせらばん体操への男性の参加者が少ない。健康寿命の増進のために、区内フィットネスクラブ等との提携事業を行ってはどうか。

**答** 区内のフィットネスクラブと協働した運動の習慣化は、健康づくりや地域資源活用の観点からも有効であるとする。今後、先行自治体の実施状況や課題を調査研究し、検討する。

### 災害時協定を問う

**問** 区は6分野72区内企業及び各種団体と災害時協定を結んでいる。このような企業・団体を区民に周知するため、あらBOSA Iや防災訓練の会場にブースを設けて広くPRを行ってはどうか。

**答** 現在、協定締結ごとにホームページや区報へ掲載する等、周知を進めるとともに、各種訓練等に参加してもらっている。ブース展示による呼びかけは、区民へのPRにつながり、事業者への災害時における対応の自覚が深まることが期待できる。

**問** 災害時防災協定を結んでいる都市及びこれから結ぶ都市に対し、被災した荒川区民の受け入れ数を決めてもらうのはどうか。また、避難先を地域別に決めておくことが大事だと考えるがどうか。

**答** 各自治体への宿泊施設数やアクセス性等の具体的な調査を行うとともに、当該自治体の意向を踏まえ、災害時の協力体制を協議する。

**問** 災害時防災協定都市を旅行の際に、区と宿泊先自治体から1,000円程度の補助金を交付する仮称「宿泊補助金」を創設し、民間交流を深めるきっかけづくりをしてはどうか。

**答** 区民が災害時に交流都市の宿泊施設を使う可能性等、検討すべき事項が様々あると考えるので、防災協定を結んでいる交流都市と協議していく。

### その他の質問項目

- 29年度予算編成と今後の区政運営について
- 緊急輸送道路の安全の確保について



▲あらBOSA Iの様子





## 震災対策と介護、医療体制づくりを問う

相馬堅一（共産党）

### 区民の命と財産を守る震災対策を問う

**問** 首都地震の際、壊滅的な被害に遭う可能性も高い。被災地外の都市グループ等と支援のあり方や受入計画を相互に持つことが必要だと考える。広域複数自治体と東京都、23区等で相互支援、受援システムを構築するよう求める。

**答** これまで同時被災の可能性が低い自治体との間でも相互応援協定を締結し、支援及び受援体制の整備に取り組んできた。今後は支援の明確化等の具体的作業を行う。広域での支援体制の整備は、都道府県や国との十分な調整が必要であることから、方法等について研究をしていく。

**問** 都危険度ランキングの基本データを区で独自分析を行い、絶対的な危険度を解明し、対策を各丁目やさらに小さなメッシュで明らかにすること。

**答** 地域危険度調査の結果を踏まえ、木造住宅密集地域の改善に向け、様々な施策を実施してきた。その効果等を把握するため、不燃領域率を指標とする分析を行い、効果の確認にも取り組んできた。

**問** 震災対策は備えが大切である。住宅耐震補強や家具転倒防止、感震ブレーカー等の設置、食料・水、簡易トイレ等の備蓄等への支援を充実し、区として3つの備えの100%実現を求める。

**答** 住宅耐震補強は区内全域の助成制度を実施し、家具転倒防止、感震ブレーカーの助成は、みまもり事業等と連携して周知をしている。備蓄物資は、当初3日分の食料は確保し、簡易トイレ等の資機材は計画的に充実・更新等を行っている。

### 住み慣れたまちで住み続けられる介護、医療体制づくりを問う

**問** 住み慣れた区内で最後まで住み続けるには介護保険では不足で、家族介護に頼っている。そこで、最後まで在宅で暮らせるように、区独自の在宅介護支援の福祉サービス提供を求める。

**答** 小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応

型訪問介護看護等のサービス拡充に努めてきた。さらに、医療と介護の連携強化を図るため、関係者の顔の見える関係づくりを進めている。

**問** 体の状況の悪化で介護認定の見直し等を行う際に、受きたいサービスを利用できない時間差が生じる。区の職員等による在宅支援のホームヘルプ事業の実施を求めるが、区の見解を問う。

**答** 身体状況の悪化等により、早急に介護サービスの利用が必要となった場合、要介護認定申請に対して、結果の通知期間の短縮に努めている。また、緊急度等に応じて、区職員による迅速な認定調査を行い、介護サービスの利用につなげている。

**問** 経済状況に関わりなく住む場所を選ぶことは、基本的な人権であると考え。認知症グループホーム、特養ホームの増設、介護付き高齢者住宅等の誘致、増設の実現を求めるが、区の見解を問う。

**答** 小規模多機能型居宅介護をはじめ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の整備促進を図り、在宅介護サービスを一体的に受けられるよう努めている。また、区内に特別養護老人ホームを整備する等、積極的に高齢者の住まい拡充を図っている。

### その他の質問項目

- 移転をやめ、築地での卸売市場再構築を求めるべきと考えるが、西川区長の認識を問う
- 新年度予算編成と予算編成過程の公開について
- 東日本大震災被災者等の支援継続について我がこととして取り組むこと
- 保育士、介護職の処遇改善に、積立の積極活用指針を持つこと
- 都市計画道路92号線は、必要性も住民合意もなく、都市計画決定の見直しに力を尽くすこと



▲家具転倒防止用具



**旧真土小学校校舎解体後の跡地と蛍光管回収、雑がみ回収、資源回収場所案内を問う**

**清水啓史 (民進・市民)**

**旧真土小学校校舎解体後の跡地を問う**

**問** 旧真土小学校校舎の解体は3月から着工し、年内には終了すると説明があった。この場所は三河島駅前北地区の再開発計画地であり、再開発の進捗を見ながらこれまで校舎を残してきた経緯がある。再開発が実際に動き出すには一定の年月がかかると考えるが、3,500平方メートルを超えるこの敷地をその間どうするのか。新年度の一定の時期には活用策を決める必要があると考えるが、区の見解を問う。

**答** 校舎の解体は本年3月に工事に着手し、12月頃の工事完了に向けて取り組んでいる。再開発事業が着工するまでの間の解体後の跡地の暫定利用については、地元をはじめ、区民の意見を聞くとともに、解体工事完了までのできるだけ早い時期に有効な活用策を示せるよう鋭意検討を行う。

**蛍光管等回収の今後の対応、雑がみ回収の周知、資源回収場所等の案内を問う**

**問** お菓子の紙箱、包装紙、ティッシュペーパーの箱等の「雑がみ」はまだ馴染みの薄い言葉である。区は昨年10月の区報特集号の中で、雑がみについて取り上げたが、区民への雑がみ回収は浸透しているのか。正しい仕分け方法も含めた雑がみ回収周知の取り組みを求める。また、資源回収について、区の多くの地域では町会単位によって行われているため、新しく区内に転入してきた方に、資源回収場所の情報が周知されていない。ごみから資源を減らすためにも町会未加入者への対応を求める。さらに、蛍光管等の埋立処理ができなくなり、いずれ蛍光管が不燃ごみでは出せなくなる現状において、今後の速やかな対応が必要になると考えるが、区の見解を問う。

**答** 平成26年7月に実施した調査によると、可燃ごみの中に資源として回収できる紙類が約9パーセント含まれていた。今後、町会等への周知を重

点的に行うとともに、小学生への環境学習において、子どもを通じて各家庭に雑がみの資源回収が浸透するよう努めていく。資源回収については、区内のほぼ全域で町会等が主体となって行う等、町会を含む約300の団体による集団回収が実施されている。回収日や分別方法は、区報特集号やホームページ等で周知を行っているが、回収場所は個別に案内する状況にある。町会未加入者だけではなく、単身者や外国人に対する適時適切な情報提供に努める。蛍光管の回収については、リサイクルセンター開設を契機に、区の施設6か所で拠点回収を開始した。また、不燃ごみの資源化方法を検証し、現行の車両や収集時間の変更等の課題も検討し、早期に蛍光管等を適正に回収できるよう取り組む。

**その他の質問項目**

- 各審議会の人員構成について
- グリーンパール那須の今後のあり方について
- 生き残るための更なる防災対策について
- 薬の適切な使用について



▲旧真土小学校



**トランプ政権による2国間交渉。荒川区への影響は？サービス付き高齢者住宅建設を**

**斉藤裕子 (元気クラブ)**

**トランプ政権でTPPより厳しい2国間交渉へ。地域経済と区の方針への影響をどう把握する？**

**問** TPPでは「外国企業に国内企業と同等の条件を与えなければならない」とされ、これに反する制度は「外国企業への差別」とみなされ、違反す



れば訴えられる。外資系参入による地域経済への影響、区の「区内企業優先」の方針、ジェネリック医薬品推進への影響と対策をどうするか。

**答** 引き続き、区内事業所の経営基盤強化に取り組み柔軟に産業振興策を講じる。政府は「現行の調達制度の変更はなく、区は対象外」と説明している。データ保護期間の延長でジェネリック医薬品開発等に支障が出る場合には、対応を検討する。

**サービス付き高齢者住宅の建設・運営を荒川区で**

**問** 介護保険が破綻し、施設介護も在宅介護も限界となった今、区の将来にとって有効な施策の一つだ。介護サービスとの一体型や併設・連携型があり、不動産業界では大きなビジネスチャンスとして捉える向きもある。荒川区でも空き家等の資源を生かした特色ある取り組みが可能ではないか？

**答** 28年度、国と都はサービス付き高齢者住宅の整備促進を図るため、施設建設や改修費に対する助成を拡充する等、後押しを強めている。地域包括ケアにおいて住まいの確保は重要な要素であり、空き家の活用も選択肢の一つと認識している。

**その他の質問項目**

○適正利益と適正賃金の確保をうたった(仮)「荒川区と民間事業者の契約に関する条例」制定を



▲ある都内のサービス付き高齢者住宅の室内

各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録ができ次第、区立図書館及び区役所地下の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区議会ホームページで平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。併せてご利用ください。



婚活、子育てへの支援と更なる安心、安全の街へ

小坂英二(日本創新党)

**国家戦略特区を問う**

**問** 結婚への心理的障壁を解消する「プレ結婚・心理カウンセリング講座」を区で開催してはどうか。

**答** 講座等の実施の必要性も含め、今後検討する。

**問** 実態数字を把握した上で、空き店舗等の活用で一時保育の拡充を行い、利用方法を考えるべき。

**答** 今後開設する2つの保育園で一時保育事業を実施する。空き店舗活用は他自治体を参考にし、調査研究を行う。申込時期を早める等の検討も行う。

**問** 「日本語」という授業を取り入れて、日本語への理解を深める取り組みをすべきである。

**答** 「国語大好き事業」として、小学校1年生の授業で区独自の講師を配置し、きめ細かく指導している。他自治体の教育内容も参考としていく。

**更なる安心、安全の街へ**

**問** ギャンブル依存症を生むパチンコ店の新規出店を不可能とする用途地域指定と条例改正が必要だと考えるが、区の見解を問う。

**答** 他自治体での独自条例制定は、裁判で敗訴した事例がある。特別用途地区指定の規制は既存不適合が発生する。都条例を遵守するよう指導する。

**問** 催眠商法に対して踏み込んだ注意喚起策が必要だと考える。該当店舗を把握した段階で、周辺地域には注意喚起文書の掲示、配布を求める。

**答** 町会掲示板への掲示等については、生活安全課での取り組みを参考に検討する。

**その他の質問項目**

○大震災の備えを綿密に強化を



◀一時保育の様子



## 区内企業への支援拡充と俳句・伝統文化の振興を問う

菅谷元昭 (自民党)

### 区内企業への支援拡充を問う

**問** 区の調査によれば、区内事業者の経営者の約7割は60歳代以上で、そのうち約3分の1が廃業を予定している。区内事業者の後継者育成を計画的に進め、承継後も経営安定化に向けた支援継続が重要である。また、事業終了せざるを得ない区内小規模事業者にも、実情に即したきめ細かな支援が必要だと考えるが、区の見解を問う。

**答** 区は、事業承継セミナー開催や相談体制を充実するとともに「事業承継支援融資」を創設し、若手事業者に対しては「あらかわ経営塾」で支援している。また、来年度は2名の「人材確保コーディネータ」を増員する。事業終了の際は、情報提供や専門家による相談体制の充実に努める。

**問** 区では我が党の要望を受け、区内小規模事業者の経営力強化につながるよう製造事業者の設備投資等の補助を開始し、国等と併用可能な補助金とした。その後も支援内容のブラッシュアップを行っている。そこで、小規模事業者経営力強化支援の補助金交付状況と区の見解を問う。

**答** 現在、92件、約7千万円の補助金を交付している。このうち事業承継に関する特例枠は19件、約3千6百万円の交付を行っており、区内事業者の次世代への承継を強く後押ししている。事業承継、経営革新等の特例枠の設定が、小規模事業者の経営基盤強化や事業承継に効果的であると認識している。引き続き、区内企業のニーズを踏まえ、きめ細かく対応する。

### 俳句・伝統文化の振興を問う

**問** 東京オリンピック・パラリンピックを控え、「俳句のまちあらかわ」として国内外から多くの方が訪れる誘客の取り組みをすべきと考える。また、俳句のユネスコ無形文化遺産登録に向け、区も積極的に支援すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 区では、あらかわ俳壇や英語俳句教室等、俳句

事業を積極的に展開している。来年度は「芭蕉の大橋渡り」のほか、フォト俳句コンテストの実施等、荒川区らしい俳句事業を行う。また、本年4月には「第一回俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会」が荒川区で開催予定であり、無形文化遺産登録に向け積極的に取り組む。

**問** ゆいの森あらかわが、いよいよ開館となる。俳句のまちあらかわ推進プロジェクトの一環として、施設内に現代俳句協会から俳句資料の寄贈を受け等、現代俳句センターとして資料を収集すると説明があった。今後、どのような資料を収集し、事業を展開していくのか、区の見解を問う。

**答** ゆいの森あらかわ内のこのセンターは、寄贈資料や区の所有資料のほか、海外の俳句関連書籍等、公立では全国屈指の俳句関連資料を有する図書館となる予定である。開館後は俳句講座や俳句講演会を開催する等、俳句文化の振興に努めていく。

**問** 荒川ふるさと文化館では、区内の伝統工芸技術を保存継承し、広く区民に紹介する様々な事業を行っている。文化館の郷土学習室を伝統工芸ギャラリーとしてリニューアルする目的とどのような内容の展示や運営になるのか、区の見解を問う。

**答** 東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、荒川区の伝統工芸技術の素晴らしさを知っていただく常設ギャラリーをこの春、開設する運びとなった。ギャラリーでは、伝統工芸品の展示や販売、伝統技術の実演等も行う予定である。

### その他の質問項目

- 区民の健康増進に向けて
- 荒川区版地域包括ケアシステムの構築に向けて
- 安全安心な街づくりの更なる推進



▲松尾芭蕉像





## 保育園待機児の緊急対策とより良い保育及びあらかわ遊園の施設改修を問う

安部キヨ子 (共産党)

### 保育園待機児の緊急対策とより良い保育を問う

**問** 区は保育園増設にこれまでも努力してきたが、29年4月の認可保育園の不承諾者は400人を超えると聞いている。直営で緊急に待機児対策保育園を立ち上げること。また特に尾久・日暮里地域の待機児対策を明らかにすること。

**答** 荒川税務署の敷地の一部を国に直接交渉して取得を図る等、あらゆる手段を駆使し、新たな保育施設整備に取り組んでいる。尾久地域は、29年4月に向け、合計80名の定員拡大を図る予定であり、日暮里地域においても、30年4月までに順次合計254名の定員拡大を図る予定である。

**問** よりよい保育を確保するために、各保育園の保育士等の充足状況や賃金等、勤務実態を調査し、改善のための対策を具体化すること。

**答** 区では賃金改善を図る等、保育士の処遇改善に積極的に取り組んできた。また新たに、奨学金制度創設等を行う。運営状況等は、園に指導検査を行う等、実態を把握しているところである。

### あらかわ遊園の施設改修を問う

**問** あらかわ遊園は、乳幼児や低学年をはじめ高齢者まで幅広い方が気楽に楽しめる施設として愛されてきた。施設改修の際には、都電から旧小台橋小学校跡地まで荒川遊園周辺全体のバリアフリー化も視野に入れて改修計画を立てること。

**答** あらかわ遊園は、園路中央部分にゴムチップ舗装を行う等、障がいのある方や高齢者にも利用しやすい環境整備に努めてきた。より利用しやすい施設とするための工事等を、29年度に策定する荒川遊園改修基本計画に反映させる予定である。

**問** あらかわ遊園C地区の荒川遊園スポーツハウス前のひろばには、自転車が駐輪されており、通行の妨げにもなっている。スポーツハウスの駐輪場の案内等を徹底し、C地区ひろばのスペースを有効利用できるようにすること。

**答** 荒川遊園スポーツハウスには専用の駐輪場があるが、一部の利用者がスポーツハウス前のひろばに自転車を駐輪し、歩行者の通行の妨げとなる場合がある。スポーツハウス前のひろばがより通行しやすくなるよう、関係部署と連携して対応する。

### その他の質問項目

- 子ども権利条例と子ども居場所づくりについて
- 高齢者の孤独死防止について
- 高齢者等の交通弱者対策について



▲あらかわ遊園

## 採択した請願・陳情

### 趣旨採択

- ・住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情
- ・荒川区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情
- ・東京都荒川区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情
- ・荒川区における受動喫煙防止に関する陳情

## 請願・陳情とは

請願・陳情は、区政に関する意見や要望を、議会に対して文書で提出する制度です。

請願・陳情の内容について、議会として賛成できるものは「採択」、趣旨には賛成できるが、すぐに具体的な実現は難しいと考えられるものは「趣旨採択」、賛成できないものは「不採択」とします。

## 平成29年 区長の施政方針説明

(一部抜粋・要旨)

西川区長から、2月14日の2月会議初日の本会議において、施政方針説明が行われました。

荒川区は、医療や介護といった社会保障費の増大に対応するとともに、高齢になっても生きがいを持って生活できる地域社会づくりを全力で進めていきます。

そのためには、区民の皆様が、これまで以上に、仕事や子育て、そして地域活動に主体的に参加し、一人ひとりが輝いていただくことが必要です。

平成29年度一般会計予算案は「くらし・子育て・安心予算」として編成しました。主な施策については、全児童遊園への防犯カメラの設置、空き家対策、宮前公園の整備、金属系粗大ごみの資源化、糖尿病対策、障がい者グループホーム等の建設費用補助制度の創設、区立児童相談所の開設準備、宿泊型産後ケア、タブレットパソコン活用による学習環境づくり、個店(商店)の魅力向上とネットワークづくり、日暮里区民事務所跡地への地域活性化施設の整備、ウォーキングの普及、伝統工芸のギャラリー開設等、荒川区民の幸福実感のより一層の向上を第一に、中長期的な視点も持って優先順位を熟考し、必要な事項を予算化したものです。前例に囚われることなく、大胆かつきめ細やかな施策の実施に努めます。

「区民の幸福実感向上」という高い目標に対し、これで十分ということはないと考えています。社会情勢の変化等を踏まえつつ、寸分も揺らぐことのない固い信念を持って「区民の幸福実感向上」への道のりを着実に歩んでいきます。

区議会並びに区民の皆様には、これまで以上のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



▲区長施政方針説明の様子

## 委員会活動の報告

### 議会運営委員会

小坂 眞三 委員長

1月30日

#### ◆2月会議の最終日について

- ①2月会議・初日の開会日について
- ②提出予定案件について
- ③2月会議の会議期間について
- ④一般質問等の締切日について
- ⑤提出議案説明のための委員会開会について
- ⑥2月会議の会議期間に係る日程について
- ⑦予算に関する特別委員会の設置について
- ⑧故・守屋誠議員に対する追悼の言葉並びに黙祷について

#### ◆行政視察の実施について

2月13日

#### ◆2月会議について

- ①追加議案の提出について
- ②議員提出議案の提出について
- ③2月会議の会議期間について
- ④議事日程について
- ⑤一般質問について
- ⑥2月14日の本会議の議事の取り扱い及び順序について 等

3月14日

#### ◆2月会議の最終日について

- ①委員会条例の改正案について
- ②陳情書の受理について
- ③議事日程について
- ④本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ⑤2月会議の終了について

#### ◆今後の議会日程について



▲故・守屋誠議員に対する追悼の言葉の様子



# 常任委員会

## 総務企画委員会

鳥飼 秀夫 委員長

1月11日

### ◆所管事務事業説明

- ①荒川区基本計画の改定について(案)
- ②第41回荒川区政世論調査結果について
- ③指定管理者制度運用に関する考え方について

2月2日

### ◆2月会議提出予定案件について

- ①平成29年度荒川区一般会計予算について
- ②平成28年度荒川区一般会計補正予算(第3回)について
- ③荒川区個人情報保護条例等の一部改正について
- ④荒川区基本計画について 等

### ◆所管事務事業説明

- ①都区財政調整協議結果について
- ②旭電化跡地(現東尾久運動場)の整備について
- ③私債権にかかる債権管理の取り組み状況について

2月17日

### ◆付託された議案について

- 議案第49号 地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 等

### ◆所管事務事業説明

- ①荒川区実施計画の改定について
- ②あらかわ区政経営戦略プランの改定について



▲東尾久運動場

## 文教・子育て支援委員会

北城 貞治 委員長

1月12日

### ◆所管事務事業説明

- ①荒川区学校教育ビジョンの改訂について(素案)
- ②(仮称)日暮里学童クラブの開設について
- ③国家戦略特区の規制緩和を活用した区立宮前公園への保育施設の整備について

2月3日

### ◆2月会議提出予定案件について

- ①平成29年度荒川区一般会計予算について【文教・子育て支援委員会関係】
- ②平成28年度荒川区一般会計補正予算(第3回)について【文教・子育て支援委員会関係】
- ③荒川区いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例の制定について 等

### ◆所管事務事業説明

- ①西日暮里六丁目私立認可保育所整備・運営事業者の選定について
- ②保育士の奨学金制度について 等

2月21日

### ◆付託された議案について

- ①議員提出議案第10号 荒川区就学援助の実施に関する条例
- ②議員提出議案第11号 荒川区小中学校等入学祝い金の交付に関する条例 等

3月2日

### ◆所管事務事業説明

- 荒川区学校教育ビジョンの改訂について(案) 等



▲国家戦略特区の規制緩和を活用した「にじの森保育園」

## 福祉・区民生活委員会

菊地 秀信 委員長

1月11日

### ◆所管事務事業説明

○グリーンパール那須の客室及び大浴場等のリニューアル工事の実施について

### ◆委員会付託事項

○付託されている陳情について

2月2日

### ◆陳情審査

①平成28年度第9号陳情

住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情

②平成28年度第10号陳情

荒川区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情 等

### ◆2月会議提出予定案件について

①荒川区特別区税条例等の一部改正について

②荒川区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準に関する条例の一部改正について 等 ほか

2月17日

### ◆付託された議案について

○議員提出議案第13号 荒川区高齢者入浴事業の実施に関する条例 等

3月8日

### ◆付託された議案について

○議案第73号 荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例

### ◆陳情について(参考配付)



▲グリーンパール那須

## 建設環境委員会

安部 キヨ子 委員長

1月12日

### ◆区外視察

○東京都江東区

・船舶からのごみの搬入・粗大ごみ処理状況・各施設見学

2月3日

### ◆2月会議提出予定案件について

①平成29年度荒川区一般会計予算について【建設環境委員会関係】

②平成28年度荒川区一般会計補正予算(第3回)について【建設環境委員会関係】

③荒川区立公園条例の一部改正について 等

### ◆所管事務事業説明

①指定管理者制度運用に関する考え方について

②西日暮里一丁目まちづくり構想の策定について

2月21日

### ◆付託された議案について

①議員提出議案第16号 荒川区住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例

②議案第62号 荒川区立公園条例の一部を改正する条例

③議案第63号 荒川区立児童遊園条例の一部を改正する条例 等

### ◆所管事務事業説明

①荒川区一般廃棄物処理基本計画の中間見直し(案)について

②西日暮里駅周辺地域まちづくり構想の改訂素案について



▲東京都江東区での研修の様子



# 特別委員会

## 震災対策調査特別委員会

相馬 堅一 委員長

1月23日

### ◆調査研究事項

- 「あらBOSA | 2017」の実施概要(案)について等

1月25日～1月26日

### ◆行政視察

- ①福岡県福岡市
  - ・「平成28年熊本地震 福岡市被災地支援活動レポート」について(25日)
- ②熊本県熊本市
  - ・熊本地震について(26日)



◀福岡県福岡市での研修の様子

## 観光・文化推進調査特別委員会

服部 敏夫 委員長

1月27日

### ◆調査研究事項

- 日暮里駅前における全国連携イベントの実施状況等について



◀にっぽりマルシェの様子

## 健康・危機管理対策調査特別委員会

茂木 弘 委員長

1月19日～1月20日

### ◆行政視察

- ①富山県富山市
  - ・小水力発電について(19日)
- ②富山県射水市
  - ・もみ殻循環プロジェクトについて(20日)



▲富山県射水市での研修の様子

## 公共施設老朽化等対策調査特別委員会

松田 智子 委員長

1月31日

### ◆副委員長の互選について

### ◆調査研究事項

- 「荒川区公共施設等総合管理計画(案)」の策定について

### ◆行政視察の実施について



▲荒川総合スポーツセンター

# 平成29年度 予算を可決

平成29年度一般会計予算ほか3特別会計予算は、「予算に関する特別委員会」（議長を除く全議員で構成・委員長＝若林清子、副委員長＝菊地秀信）を設置し、2月23日から3月9日まで審査を行い、いずれも可決されました。



▲委員長挨拶の様子

## 予算の審査経過

2月23日	3月3日	修正案（共産党提出）
<b>一般会計予算</b>	○歳出審査（民生費）	採決の結果 否決
○予算大綱説明（副区長）	3月6日	原案
○総括質疑（7会派）	○歳出審査（民生費・衛生費）	採決の結果 可決
※主な質問項目は別掲	3月7日	<b>国民健康保険事業特別会計予算、</b>
○歳出審査（議会費・総務費）	○歳出審査（衛生費・環境清掃費・	<b>後期高齢者医療特別会計予算</b>
2月24日	産業経済費・土木費）	○審査
○歳出審査（総務費）	3月9日	○採決 採決の結果 可決
2月28日	○歳出審査（土木費・教育費・公	<b>介護保険事業特別会計予算</b>
○歳出審査（総務費）	債費・諸支出金・予備費）	○審査
3月1日	○歳入審査（一括審査）	○採決 採決の結果 可決
○歳出審査（総務費・民生費）	○採決	

## 平成29年度 予算の概要

年度区分 会計区分		平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	増減	増減率 (%)
一般会計		951億2,000 万円	969億6,000 万円	△18億4,000 万円	△1.9
特別 会計	国民健康保険 事業	301億3,400 万円	294億2,500 万円	7億900 万円	2.4
	後期高齢者 医療	48億200 万円	45億1,800 万円	2億8,400 万円	6.3
	介護保険 事業	170億9,800 万円	164億8,500 万円	6億1,300 万円	3.7
計		1,471億5,400 万円	1,473億8,800 万円	△2億3,400 万円	△0.2



# 主な総括質疑

## 自民党 北城 貞治 委員

- ・適正な財政調整基金の維持及び特定目的基金の積み増しについて
- ・小中学校及び生涯学習センターの体育館への空調設備の設置について
- ・芸術文化振興基金を活用した日本の伝統文化教育について
- ・障がい者グループホームの誘致と国・都の補助金拡充への取り組みについて
- ・医療的ケアが必要な障がい児・障がい者への支援について
- ・手話言語条例の制定時期と視覚障がい者への配慮について

## 自民党 鳥飼 秀夫 委員

- ・待機児童対策を進めるにあたっての荒川方式の保育士奨学金制度について

## 公明党 吉田 詠子 委員

- ・区ホームページを活用した「いきいきボランティア制度」の拡大策について
- ・補助90号線の用地買収交渉にあたる相談体制について
- ・京成高架下の京成町屋駅から花の木橋区間の先行開発計画の概要について

## 共産党 相馬 堅一 委員

- ・待機児緊急対策としての待機児保育園の開設について
- ・住み慣れたまちで住み続けられる在宅介護体制の充実について
- ・サービス付き高齢者住宅を区内で整備することについて

## 民進・市民 清水 啓史 委員

- ・保育園を含む公共施設の合築に関する視点について
- ・保育園と区施設との合築での施設建設に対する補助について

## 元気クラブ 斉藤 裕子 委員

- ・西日暮里駅前と三河島北地区の再開発は超高層住宅建設をやめ、緊急課題を優先せよ

## 日本創新党 小坂 英二 委員

- ・朝鮮学校への支給が9割を占める外国人学校保護者補助金の廃止について

## 改革の会 藤澤 志光 委員

- ・東京女子医大東医療センター移転後の他大学病院誘致に関する西川区長の発言について



▲区長答弁の様子



▲委員会室の様子

# 平成29年度予算をこう評価する

3月15日の本会議において、平成29年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区民の幸福実感向上に一層努力することを強く要望し、賛成

自 民 党



自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成に当たり、区民生活の向上、安心・安全に暮らせる荒川区を目指し、約300の事項を積極的に推進していくよう要望した。この要望を踏まえ、区は、重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分し、内部努力の徹底や事務事業全般の再点検・見直しを図っている。

主な施策について述べると、待機児童対策に関して、国家戦略特区として都市公園内での保育所設置を提案した区の功績、荒川方式の奨学金創設等による保育士確保を高く評価する。今後も、我が党が提案した幼稚園での預かり保育拡充等を求める。福祉関係では、親なき後対策として障がい者グループホーム等の整備に対しての区独自の補助金創設、安全・安心対策では、全児童遊園、広場等への防犯カメラ設置、産業振興では、若者を中心とする求職者と区内企業とのマッチングを図り、就労支援の充実を図ることを評価する。

これらの他にも、各分野の施策や事務事業を具体的に確認した。主なものは、様々な部署が連携したウォーキングの普及、伝統工芸ギャラリーのアピール、町会に配置したAEDの適正管理、全町会による防災総合訓練の実施、「家読」の推進、小中学生からの選挙啓発、ゆいの森アートフェスティバルの実施、手話言語条例の早期制定、認知症・介護予防に向けた会話型ロボットの試験的導入、蛍光灯の適切な回収体制の検討等々である。

改めて、東京女子医大東医療センター移転問題について、都に対する都有地売却をさせない働きかけと最悪の事態を想定した対応の準備、小中学校体育館及び生涯学習センター体育館への空調設備整備の早期実現、我が党が提示した8項目を配

慮した荒川遊園リニューアルの3点を求める。

新年度の予算執行に当たっては、区民の幸福実感向上に一層努力することを強く要望し、自由民主党荒川区議会議員団も、執行機関との良き緊張関係を保ちつつ、今後とも力強く西川区政を支えていくことを表明して、賛成の討論とする。



▲ゆいの森あらかわ

限りある財源を重点的・効果的に配分した予算を評価

公 明 党



平成29年度予算は、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、子育て環境の整備、介護予防の充実、防災まちづくりの推進等、区民の安全安心の更なる向上をはじめ、地域の経済や文化の活性化等に着実に取り組むことで、「くらし・子育て・安心予算」として編成された。

予算編成に先立って我が党が提出した要望書を踏まえ、限りある財源を重点的・効果的に配分したものと受け止めている。主な事項として、空き家対策の更なる推進、子育て女性のキャリアアップ講座の充実、胃内視鏡検診の早期導入、児童相談所の区移管の早期実現に向けた取り組みの推進等が予算化されており、我が党の主張が幅広く取り入れられていることを評価する。

また、予算特別委員会では、子どもの居場所づくり事業の周知、民泊の実態調査と民泊条例の早期制定、受動喫煙リスクの分かりやすい周知の徹底、街路灯や私道照明灯の早期LED化、ビブリ



オバトルの実施、いきいきボランティア制度の更なる拡大策、京成高架下の有効活用等、様々な要望や提案を行った。

これらの提案・要望を今後の事務執行や予算編成に反映させ、区民生活の向上に一層努力するよう要望し、賛成討論とする。



▲空き家のイメージ

暮らし応援、暮らしの底上げが不十分である

共産党

反対

一般会計予算に反対する。反対の第一に、社会問題になっている子どもの貧困に対する新規事業や拡充策が事実上存在しない。就学援助の入学準備金の前倒し実施等も検討し予算化すべきだった。また、年金の削減と保険料負担に苦しむ高齢者の負担軽減、生活応援策がなく、暮らし応援、暮らしの底上げが不十分である。第二に、従来型の超高層住宅建設を柱とした西日暮里駅前や三河島駅前北地区開発や市場まかせのマンション建設等は見直しが必要である。保育園、学童クラブ、幼稚園、学校の整備が引き続き課題である。第三に、在宅でも安心して暮らすためには介護保険だけでは不十分である。区としての横だし上乗せ等の計画が必要だ。以下、住宅耐震補強や家具転倒防止、感震ブレーカー等の設置、食料・水、簡易トイレ等の備蓄等への支援の充実、子ども医療費助成の入院時食事代の補助、特定整備道路補助92号線について、都への区としての意見発信、児童公園での禁煙の徹底やトイレの改善、日暮里図書館、スポーツハウス等の適切な改修、住宅リフォーム助成実施の決断、女子医大東医療センター移転問題について、足立区との話し合い等を求める。最

後に、小中学校タブレットパソコン一人一台体制の検証と見直しを求め、反対討論とする。



▲学童クラブの様子

区政の重要課題に積極的に取り組む予算配分であると評価

民進党

賛成

本予算は、区政の重要課題に積極的に取り組む予算配分であると評価する。

福祉・介護分野は、精神障がい者地域生活支援センター拡充等の施設整備費補助制度の新設を高く評価し、更なる地域における高齢者みまもりネットワークの構築、切れ目のないサービスの実施等を引き続き要望する。子育て・教育分野では、区立児童相談所設置に向けた人材確保・育成、関係機関との連携整備、産業観光分野では、事業承継の取り組みを要望する。防災施策は、24時間使用可能な屋外設置のAED新設を高く評価する。最後に、荒川遊園リニューアルは平日にも来園者を呼び込めるよう期待する。

結びに、子どもから高齢者まで「癒しの場と活躍の場のあるまち荒川区」の実現を目指し、鋭意取り組んでいく決意を表明し、賛成討論とする。



▲24時間使用可能な野外設置のAED

区民が豊かになり、生活が向上することを区政の基本にせよ  
 女子医大病院移転は200床の確保を  
**元気クラブ**



「松尾芭蕉の銅像より早く地域の不便の解消を」「俳句の街も結構だが事業者の生活向上に直結する施策を重視すべき」との声がある。区政の関心はどこにあるのか？観光・文化芸術も良いが、区民が食べ、生活することを応援する予算にせよ。

吉村昭文学館は現在の日暮里図書館のコーナーを充実し、ゆいの森の文学館と連携を。現場の保育士の意見を聞いて保育士確保策の改善を。東日暮里保育園跡地のふれあい館に保育園の併設を。

破綻した介護保険制度を取り繕う地域密着型サービスに反対。日暮里地区の学校・保育園不足と矛盾するマンション建設の再開発を止めよ。女子医大東医療センター移転の場合は、地域医療と災害時対応の可能な200床以上の病院を確保せよ。



▲日暮里図書館

国あつての地域であり、地域あつての国である。その点が蔑ろにされた予算である以上、反対  
**日本創新党**



ふるさと納税の現制度を批判するのではなく、地域の魅力を広める機会として挑戦をすべきである。以下の3つの支出を是正することこそ、区が取り組むべきことである。1つ目は、タブレットパソコンの全校ばら撒きである。道具頼りの教育は廃止すべきである。2つ目は、朝鮮学校が9割を占める外国人学校保護者補助金である。区はこの問題に対し、正面からの議論や説明をしていない。3つ目は、保育園の大量増設である。子育て

を外部委託して女性を賃金労働の場に引きづり出す施策は止めるべきだ。

国あつての地域であり、地域あつての国で不可分の存在である。その点が蔑ろにされた予算である以上、反対討論とする。



▲小・中学校に導入されているタブレットパソコン

生涯健康都市及び安全安心都市の根底には、災害拠点病院の存在が前提である  
**改革の会**



本予算で示されている主要施策である生涯健康都市及び安全安心都市の根底には、災害拠点病院の存在が前提である。女子医大東医療センター移転問題はこの前提を根底から覆すことになる。区は地域医療の崩壊を招かぬよう責任をもって最低でも災害拠点病院を区内に確保するとともに、現在地での経済活力を損ねないようにすべきである。荒川区基本計画に欠落している健康危機管理体制の整備、地域医療の充実についても、今後の区的重要施策として速やかに構築すべきである。

また、西川区長その他大学病院誘致の発言について、予算委員会で自身の発言に対して答弁ができないような発言を区民の前ですることは慎むべきと申し述べ、賛成討論とする。



▲東京女子医科大学東医療センター



# 議案の審議結果

平成28年度定例会・2月会議



















○ 賛成 × 反対 — 退席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果	
	自 民 党	公 明 党	共 産 党	民 進 ・ 市 民	元 気 フ ラ ブ	日 本 創 新 党	改 革 の 会		
	13	6	6	3	1	1	1		
<b>区長提出議案 (2件)</b>									
第56号	荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例							○	可決
第70号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (大家康子氏)							○	適当との意見

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)								結果	
	自 民 党	公 明 党	共 産 党	民 進 党	元 気 フ ラ ブ	日 本 創 新 党	改 革 の 会	市 民 の 会		
	13	6	6	2	1	1	1	1		
<b>議員提出議案 (8件)</b>										
第10号	荒川区就学援助の実施に関する条例								×	否決
第11号	荒川区小中学校等入学祝い金の交付に関する条例								×	否決
第12号	荒川区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例								×	否決
第13号	荒川区高齢者入浴事業の実施に関する条例								×	否決
第14号	荒川区高齢者紙おむつ購入費の助成に関する条例								×	否決
第15号	荒川区高齢者に係る介護保険料の負担の軽減に関する条例								×	否決
第16号	荒川区住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例								×	否決
第17号	荒川区議会委員会条例の一部を改正する条例								○	可決
<b>区長提出議案 (28件)</b>										
第49号	地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例								○	可決
第50号	荒川区いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例								○	可決
第51号	荒川区個人情報保護条例等の一部を改正する条例								○	可決
第52号	荒川区職員定数条例の一部を改正する条例								○	可決
第53号	職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例								○	可決
第54号	荒川区職員住宅条例を廃止する条例								○	可決
第55号	荒川区立保育所条例の一部を改正する条例								○	可決
第57号	荒川区ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例及び荒川区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例								○	可決
第58号	荒川区特別区税条例等の一部を改正する条例								○	可決
第59号	荒川区立障害者グループホーム条例を廃止する条例								○	可決
第60号	荒川区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等の基準に関する条例の一部を改正する条例								○	可決
第61号	荒川区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営、指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例の一部を改正する条例								○	可決
第62号	荒川区立公園条例の一部を改正する条例								○	可決
第63号	荒川区立児童遊園条例の一部を改正する条例								○	可決
第64号	平成28年度荒川区一般会計補正予算(第3回)								○	可決
第65号	平成29年度荒川区一般会計予算								○	可決
第66号	平成29年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算								○	可決
第67号	平成29年度荒川区後期高齢者医療特別会計予算								○	可決
第68号	平成29年度荒川区介護保険事業特別会計予算								○	可決
第69号	荒川区基本計画								○	可決
第71号	荒川区組織条例の一部を改正する条例								○	可決
第72号	荒川区手数料条例の一部を改正する条例								○	可決
第73号	荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例								○	可決
同意第3号	荒川区副区長の選任同意について (佐藤安夫氏)								○	同意
同意第4号	荒川区教育委員会教育長の任命同意について (高梨博和氏)								○	同意
同意第5号	荒川区教育委員会委員の任命同意について (小林敦子氏)								○	同意
同意第6号	荒川区教育委員会委員の任命同意について (坂田一郎氏)								○	同意
同意第7号	荒川区監査委員の選任同意について (小川秀行氏)								○	同意

# 毎月全国の議会が視察に訪れています

1月～2月の間、18団体の行政視察を受け入れました。

月 日	視察受入議会名	主な視察項目
1月12日	 埼玉県白岡市議会	コミュニケーション支援ボードについて
	 埼玉県久喜市議会	
	 埼玉県蓮田市議会	
	 埼玉県杉戸町議会	
13日	 静岡県三島市議会	タブレットを活用した学校教育について
20日	 京都府京田辺市議会	子どもの貧困対策について
24日	 富山県南砺市議会	中学校の防災部について
25日	 北海道釧路市議会	区立図書館の整備充実について
25日	 静岡県浜松市議会	子どもの貧困対策について
31日	 北海道江別市議会	荒川区民総幸福度について
2月 1日	 福井県福井市議会	国土強靱化計画の取り組みについて
	 大分県宇佐市議会	コミュニケーション支援ボードについて
8日	 熊本県八代市議会	永久水利事業について
9日	 大阪府河南町議会	議会改革への取り組みについて
10日	 北海道室蘭市議会	荒川区民総幸福度について
10日	 北海道旭川市議会	子どもの貧困対策について
20日	 福島県福島市議会	都市間交流の取り組みについて
22日	 東京都千代田区議会	リサイクルセンターの役割について



▲大分県宇佐市議会 様



▲熊本県八代市議会 様



▲大阪府河南町議会 様

## 守屋誠議員逝去

荒川区議会議員守屋誠氏(享年63歳)は、平成29年1月19日逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

氏は、昭和58年に荒川区議会議員になられて以来、34年間にわたり区政に貢献されました。この間、議長、副議長、総務企画委員会委員長、文教・子育て支援委員会委員長、建設環境委員会委員長、荒川区監査委員等の要職を歴任され、荒川区の発展のため、献身的に尽力され、多大な功績を残されました。

区議会では、2月14日の本会議において、区議会の総意として小坂眞三議員より追悼の言葉並びに1分間の黙祷を捧げました。

